

(2) 被保険者の報酬

財政見通しの作成上、保険料収入や受給者になったときの報酬比例部分の年金額を算定するため、被保険者の報酬についてシミュレーションが必要となる。

・報酬の算定

残存者（前年度末から引き続き被保険者である者）の報酬に昇給率（定期昇給分）と賃金上昇率を適用したものと、当年度中の加入者の報酬の全平均が当年度末の1人あたり報酬となる。

$$\begin{aligned} \text{hoshu}(k, x, t) = & \{ \text{nhoshu}(x) \times \prod_{m=2007}^k (1+h(m)) \times \text{kanyu}(x, t) \\ & + \text{hoshu}(k-1, x-1, t-1) \times \text{shokyu}(x) / \text{shokyu}(x-1) \\ & \times (1+h(k)) \times \text{zanzonh}(x, t) \} / \text{hiho}(x, t) \end{aligned}$$

・報酬累計の算定

受給者になったときの報酬比例部分の年金額を算定するため、被保険者及び受給待期者の1人あたり報酬累計について、再評価や物価スライドをしつつ、シミュレーションを行っている。

残存者の他、当年度中加入者、当年度中生存脱退者、受給待期者についての前年度までの報酬累計に対して、まず、当年度分のスライドを行ったものを算定する。

$$\begin{aligned} (A) = & \{ \text{kanyu}(x, t) \times \text{ruikeit}(x-1, t) + \text{zanzonh}(x, t) \times \text{ruikeih}(x-1, t-1) \} \\ & \text{[前年度末]} \qquad \qquad \qquad \text{[前年度末]} \\ & \qquad \qquad \qquad \times \text{slide}(k) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) = & \{ \text{zanzont}(x, t) \times \text{ruikeit}(x-1, t) + \text{dattai}(x, t) \times \text{ruikeih}(x-1, t-1) \} \\ & \text{[前年度末]} \qquad \qquad \qquad \text{[前年度末]} \\ & \qquad \qquad \qquad \times \text{slide}(k) \end{aligned}$$

このようにして算定された額に対して、次に、被保険者の状態毎に当年度に累加されるべき報酬を加算する。

① 当年度中加入者については、加入時報酬の1/2分：

$$\text{nhoshu}(x) \times \prod_{m=2007}^k (1+h(m)) / 2 \times \text{kanyu}(x, t) \times \text{htoc}(k)$$

② 残存者については、前年度末の報酬に賃金上昇率を適用したものと当年度末の報酬の和半：

$$\begin{aligned} & (\text{hoshu}(k-1, x-1, t-1) \times (1+h(k)) + \text{hoshu}(k, x, t)) / 2 \\ & \qquad \qquad \qquad \times \text{zanzonh}(x, t) \times \text{htoc}(k) \end{aligned}$$